

# 2022年度事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

## 1. 功労者表彰

### 1. 1 島津賞

受賞者：1名（候補者数11名※）

（※2021年度からの繰越5名、2022年度候補者6名）

#### 【候補者推薦について】

受付：2022年4月1日～7月31日

方法：別紙1「島津賞・島津奨励賞推薦依頼学会」の50学会に候補者推薦を依頼。

対象：科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において、著しい成果をあげた功労者とする。

#### 【選考と決定について】

選考：第一次選考審査（2022年8月下旬～10月中旬）を行い、第二次選考審査である選考委員会（2022年10月28日開催）にて選考。

決定：第36回理事会（2022年12月1日開催）で審議・決定。

#### 【贈呈について】

2023年2月20日にホテルオークラ京都において、島津賞表彰式を挙行。下記1名に対し、表彰状、賞牌、副賞賞金500万円を贈呈した。

（年齢および所属・役職は受賞時点）

受賞者氏名	研究業績	推薦者
理化学研究所 環境資源科学研究センター サイトウ カズキ センター長 <b>齊藤 和季</b> 67才	植物メタボロミクス・統合オミクスの開拓による植物科学の新展開	日本植物バイオテクノロジー学会

### 1. 2 島津奨励賞

受賞者：3名（候補者数21名）

#### 【候補者推薦について】

受付：2022年4月1日～7月31日

方法：島津賞の候補者推薦と同様、別紙1の50の学会に加え、当財団関係者（理事・評議員・選考委員および過去20年以内の島津賞受賞者）に候補者推薦を依頼。

対象：科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において独創的成果をあげ、かつその研究の発展が期待される国内の研究機関に所属する45歳以下の研究者を表彰する。

#### 【選考と決定について】

選考：第一次選考審査（2022年8月下旬～10月中旬）を行い、第二次選考審査である選考委員会（2022年10月28日開催）にて選考。

決定：第36回理事会（2022年12月1日開催）で審議・決定。

### 【贈呈について】

2023年2月20日にホテルオークラ京都において、島津奨励賞表彰式を挙。下記3名に対し、表彰状、トロフィ、副賞賞金100万円を贈呈した。

(年齢および所属・役職は受賞時点)

	受賞者氏名	研究業績	推薦者
1	理化学研究所創発物性科学研究センター チーム ヤマモト ミチヒサ リーダー <b>山本 倫久</b> 45才	固体の電子波を利用した革新的な位相計測技術と量子デバイスの開発	日本物理学会
2	京都大学エネルギー理工学研究所 ミヤウチ ユウヘイ 教 授 <b>宮内 雄平</b> 43才	カーボンナノチューブの励起子発光計測と新規熱効果	過年度島津賞受賞者
3	東京工業大学 物質理工学院 サガラ ヨシミツ 准 教 授 <b>相良 剛光</b> 40才	微小な力を可視化する有機超分子材料の開発	過年度島津賞受賞者

## 2. 研究開発助成事業

### 研究開発助成

科学計測に係る領域において、本事業が以前から対象としていた領域（これを「領域全般」と呼ぶ）に加え、従来の計測の概念にとられない新しい分野の研究を対象領域として「新分野」という枠を別途設けて募集を行っている。応募状況は以下の通りである。

- 1) 科学計測に関わる「領域全般」 受領者20件 (応募総数 54件)
- 2) 科学計測に関わる「新分野」 受領者 3件以内 (応募件数 6件)

新分野のテーマは、今年度も引き続き『高度情報処理を用いた科学計測の高度化研究分野』とすることが理事会において決定しており、このテーマで募集が行われた。

### 【募集について（領域全般・新分野共通）】

受付：2022年4月1日～7月31日

方法：当財団のHP上での告知、および、別紙1の50学会に、会誌やHP等での募集内容の告知を依頼した。

対象：科学技術、主として科学計測に係る領域における基礎的な研究。

資格：科学計測に関わる領域全般、新分野とも国内の研究機関に所属する新進気鋭の研究者で、毎事業年度の公募開始時点において45才以下の者。

### 【選考と決定について】

- 1) 科学計測に関わる「領域全般」について

選考：第一次選考審査（2022年8月下旬～10月中旬）を行い、第二次選考審査である選考委員会（2022年10月28日開催）にて選考した。

決定：第36回理事会（2022年12月1日開催）で審議・決定。

## 2) 科学計測に関わる「新分野」について

選考：情報処理の専門家からも参考意見を聴取すべく、臨時選考委員として合原一幸東京大学教授を選任し、一次選考として2022年8月下旬～10月中旬に選考委員の書類審査評価と臨時選考委員の意見聴取を行った。第一次選考審査の結果および臨時選考委員からの参考意見を踏まえて、選考委員会（2022年10月28日開催）にて選考した。

決定：第36回理事会（2022年12月1日開催）で審議・決定。

### 【贈呈について】

2023年2月20日にホテルオークラ京都において、研究開発助成金贈呈式を挙行。「領域全般」20件、「新分野」3件の計23件に対し、助成金(総額2300万円)を贈呈した。

受領者一覧（計23名）は、別紙2に記載。

## 3. 2021年度島津賞・島津奨励賞受賞記念講演会

2021年度に開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を見合わせた「第41回島津賞・島津奨励賞表彰式並びに研究開発助成贈呈式」に替えて、2021年度島津賞1名・島津奨励賞受賞者3名による受賞業績関連講演会を2022年5月8日にホテルオークラ京都にて開催した。2021年度研究開発助成採択者も招待し、研究者間の交流を図るため、新型コロナ感染防止対策を行った上でパーティも開催した。出席者数は、講演会64名、交流パーティ62名だった。

## 4. 普及啓発

文部科学省では科学技術に関する普及啓発活動の一環として、毎年、全国的規模で科学技術週間を実施しており、当財団も、同週間関連行事として、島津製作所創業記念資料館の無料公開に毎年協賛をしているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無料公開が中止となり、同事業は遂行できなかった。

## 5. その他の事業：

特になし

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に、その内容を補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は作成していない。

以上